

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成13年5月21日

第8報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	840		
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	6		
(珪) <i>Melosira granulata var. angustissima</i>	24		
(珪) <i>Melosira granulata var. angustissima f. spiralis</i>	14		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	10		
(珪) <i>Attheya Zachariasii</i>	20		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	250		
(珪) <i>Synedra acus</i>	80		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i>	10		
(珪) <i>Acanthos minutissima</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	80		
(緑) <i>Chlamydomonas sp.</i>	10		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	320		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus var. mirabile</i>	10		
(緑) <i>Mougeotia sp.</i>	18		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	8		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	28		
(他) <i>Tetraselmis sp.</i>	10		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	846	48.1	10.0
(珪) 珪藻綱	428	24.3	19.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	80	4.6	5.9
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	394	22.4	64.4
(他) その他のプランクトン	10	0.6	0.1
総細胞数	1758	総体積	2.32E+06
種類数	19	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Kellicottia longispina</i>	520

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
繊毛虫類 <i>Epistylis sp.</i>	260

*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種

Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種

Kellicottia longispina
(トゲナガワムシ)
輪虫類



体部は円錐形、後端はそのままのびて長いトゲとなる。トゲのうち中央右側のものが最も長くて体長とほとんど等しい。

コメント:

植物プランクトンは総細胞数では淡水赤潮の原因となるウログレナが最も大きな割合を占めていたが、総体積量では緑藻のスタウラスツルムが大きな割合となった。動物プランクトンは6本のトゲを有するトゲナガワムシが優占種となった。本種は湖沼のプランクトンとしては普遍分布種である。